

刀楠 正 (8期)



〈母校の思い出〉

私が母校に入学したのは昭和二年です。

校舎は木造二階建で山電東駅近くの丘

陵にありました。校舎は略称で関中と言つておりました。

眼下に練兵場と周囲の緑の丘を眺める

ことができました。

一学年は一四〇名でした。私達の学習

机は椅子と繋がつていてのを使用して

いました。二年生の時、鉄筋三階建ての

新校舎に移転しました。移転の時は生徒

各人が自分の机を運んだのですが重くて

苦労しました。

旧校舎は後に高女が使用しました。

当時母校には個性ある先生が多くおら

れましたがその中で異彩を放っていたの

は和服に革靴をはいた「漢文」の永松先

生でした。

口ひげを指でひねりながら名調子で講

義されている先生の姿は忘れられません。

私達の時代には生徒はどの先生も尊敬

していましたが生徒間の会話は先生の姓

名を言わず「あだ名」でよんでいました。

その報いで本名を忘れて困ることがあり

ました。次に当時、教課に剣道か柔道を

選べる「武道」がありました。武道に関

連して毎年一月中旬に寒稽古が実施され

ました。

十日間ですが毎日暗い中に家を出るの

で厳冬の空には星がきらめいていまし

た。

生徒の中で上田中町、唐戸、東南部町

方面の生徒の通学路の途中に二〇〇米ばかりの間はのぼりで両側に山がせまつて

おり、そこを通りぬけ練兵場を横断して

学校に行くのですが、この隘路を吹きぬ

「東北・秋田の秘湯」

甲斐敏晴 (31期)

ける北風は極めてきびしいものでした。又低学年の頃は寒いだけでなく恐怖を感じました。学校に到着し道場で剣道着にきかれる時の冷たかつたことは忘れられません。

寒稽古はきびしい思い出の一つです。煙草を吸いながら歩く人がいます。風が吹くとかすが散つて他人の眼に入つて困ことがあります。

〈他人に迷惑をかけない〉

煙草を吸いポイ捨てします。道路が汚れ美観をそこなうだけでなく、誰かが掃除しなければなりません。

次に所かまわす喫煙する人がいます。周囲の人は不快な気分になり困っています。

我が家の前のけやきの並木道は美しいのですが道行く人が煙草の吸殻を捨てたり、中学生がアイスクリームの空き容器を捨てます。

こんなことをする人は他人に迷惑をかけることが分からないのでしょうか。

学校ではいろいろの事件がおきています。このようなことが起るのは教育「しつけ」に問題があるのでしょ

うか。

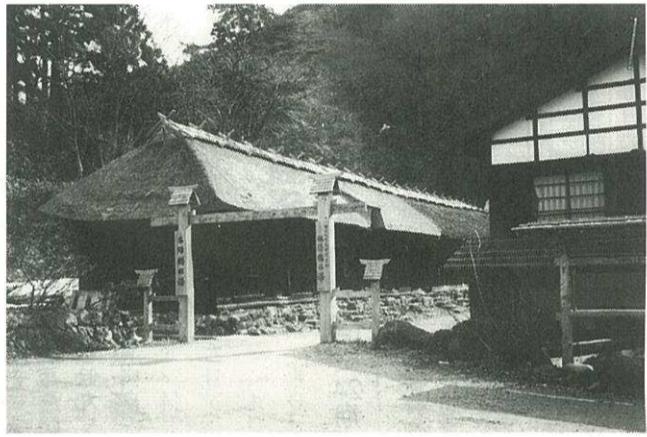
明るく、平和な生活をするために、小学校、中学校の先生、親御さんは子供達に機会をとらえ、繰り返し次のことを教えてください。

○他人に迷惑をかけない

○エチケットを守る

○自然を大切にする

○弱者を助ける 等々



桜の季節、四月二十日過ぎ、角館の枝垂れ桜(五百五十本)を見物し、田沢湖から、車で約二十分、乳頭温泉郷の一つ、「鶴の湯温泉」は、ここ十年で五回も訪れた。私にとって、よく愛している温泉である。昔は秋田藩主の湯治場だと水車が動いていた。四つの泉質を有する温泉は、私の知るところ、ここだけではないかと思っている。新築の室には、囲炉裏があり、そこで串刺しにした天然のイワナを肴にチビリ、チビリと酒を飲むのは、まさに秘湯の雰囲気である。

秋田県八幡平近くの「玉川温泉」は真の湯治場である。七百人定員が、一年中満員で、日帰り入浴客も、平日四百人を超えるという、日本一の超人気温泉である。湧き出る湯量も日本一で、泉質はラジウムを多量に含んだ強酸性である。そのため浴槽は源泉50%の湯と100%の湯に分かれている。特に100%の湯はPH1.2の

強酸性でうつかり顔を洗うと目がしみる程である。この温泉が超人気の原因は万国から療養目的に訪れている。この温泉のもう一つの特徴は岩盤浴である。岩の上にゴザを敷いて、そこで寝ころぶのであるが、可成り馴れた人でないと参加出来ない。玉川温泉は全国紅葉No.1の地帯の真ん中であり、秋(十月中旬)は色とりどりの紅葉トンネルの中を抜けるのは、最高の気分になる。

この玉川温泉より、車で四十分で行ける八幡平アスピーテラインの景色はすばらしい。八幡平山頂近くに、「藤七温泉、彩雲荘」がある。海拔1400mの高地にある温泉である。泉質は白濁した硫黄泉であるが、お薦めは露天ぶらからの大眺めである。皇太子御夫妻も、わざわざ訪められたとのことで、遠く下界に広大な山並みが続き、朝には限りなく広がる雲海を見ながら温泉に入ることが出来る、日本らしい。八幡平山頂近くに、「藤七温泉、彩雲荘」がある。海拔1400mの高地にある温泉である。泉質は白濁した硫黄泉であるが、お薦めは露天ぶらからの大眺めである。皇太子御夫妻も、わざわざ訪められたとのことで、遠く下界に広大な山並みが続き、朝には限りなく広がる雲海を見ながら温泉に入ることが出来る、日本らしい。

「嘘」をほんとうらしく書くか、「ほんとうのこと」を嘘のように書くのが、抵抗がなくてよい。

「冗談」にかこつけて「ほんとのこと」を書くのも、同じようなものである。

一般的に、世の中「ほんとうのこと」は「正義」で、「嘘」は、「悪」であるといふことになつていて。

しかし、世の中大半が「いかさま」で、それでうまく行つているということも忘れてはならない。

「真実」は、「危機」を実感させ、「苦痛」をもたらし、「嘘」は「安心感」をもたらすから、人は、「嘘」の方を信じやすいのである。

(二) 文章は、必ず何かを訴えるために書くものである。

しかし、文章は、ありのままに書いてはならない。作文とは、「文」を「作」ることである。加工し、味付けし、面白くしなければならない。「真実」をそのまま書いてはならない。「嘘」のような「真実」に仕上げて、「冗談」の中で「ほんとう」のことを言つてこそが、読む人や聞く人が安心するのである。

「あきらめる」ためには、仕事を頑張らないことが、大切なのである。

(四) ところで、黒を白にすることはできなくとも、黒を白く見せるることは出来るのである。

世の中、一〇の能力がなくとも、一つ二つあるとみせかければ、あとは人が勝手にいると思いつくのである。

政治家にしろ、教師にしろ、あらゆるプロ集団は、この人の勝手な思い込みがあるから、職業としてやつていけるのである。

世の中知らないことがいっぱいあるし、知ったからといって、幸せになれるものでもない。

世の中の「からくり」や「いかさま」は、知らない方が良いのである。(弁護士)

「作文」

村上充昭 (39期)

(一) 物を書き、それを他人に理解してもらうのは、大変難しい。

「ほんとうのこと」を書くと、人間関係は間違いなく崩壊する。

しかし、「嘘」を書くと、泥棒よばわりされる。

「嘘」をほんとうらしく書くか、「ほんとうのこと」を嘘のように書くのが、抵抗がなくてよい。

「冗談」にかこつけて「ほんとのこと」を書くのも、同じようなものである。

それと比べて、一〇分の一一位であると思つて間違いない。

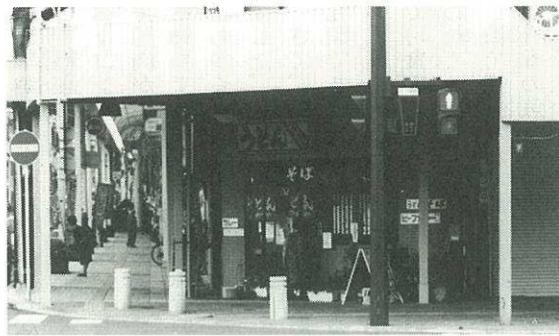
仕事を頼んだ側の評価は、仕上げた側の評価の落差は、一〇倍位あると思つて間違いない。

お互いの評価の落差は、一〇倍位あると思つて間違いない。

仕事を依頼した側と、依頼された仕事を上げた側の思惑の違いは、絶望的に食い違うのである。

「桃太郎」

小田和弘 (47期)



原稿を依頼され、桃太郎とは、はとくと考えた時

に思い出すキーワードは、唐戸・天ぷら・うどん

黒なだしの関東のうどんは食べられなかつた。

現在でも妻の作るうどんは関西風であり、私自身の味のルーツはやはり下

関の食べ物である。私は酒もそこそこ飲むが、甘党であり、桃太郎のミルクセーキもすてがたい。細長いガラス容器に細長いスプーンが入つていたような気がする。昔は唐戸しかなかつたが、確かに高校時代に大歳神社の近くにも出店した桃太郎は下関の食文化の一つとして多くの人の心のなかに残つている。(クボタ)



徳原信博 (46期)

N先輩からの原稿依頼の電話を受けた

後、久しぶりに高校時代の思い出に浸りました。高校二年の時、中学から続けた

バスケットボール部をやめ、バドミントン同好会に入部。仲のいいクラスメートに誘われたことが表向きの理由です

が、本当はこの当時、西高には体育館がなく練習は週二回市立体育館、そして南

高のバドミントン部も一緒。そこに中学生の初恋の彼女がいる事を知つたからです。

週二回の練習には眞面目に参加し、県の試合などで彼女との接点が増える中で、私は初めて“ラブレター”なるもの

を書きました。そして初めての、それもたつた一回限りのデートにこぎつけたのです。

西高と言えば東駅、東駅と言えば「すい

ず」と言うくらい馴染みの店であつた。

(積水化学工業)

はないかと思う。名物の天ぷらうどんの味はあまり覚えていない。こんなことだけよかつたと後悔しても後の祭り。

しかしながら、薄味のだしに薄い天ぷら(小海老が入つていた?)の乗つたうどんで、本当においしかつたような気がする。勤務した関東ではしばらくは、真

黒なだしの関東のうどんは食べられなかつた。

現在でも妻の作るうどんは関西風

であり、私自身の味のルーツはやはり下

関の食べ物である。私は酒もそこそこ飲

むが、甘党であり、桃太郎のミルクセーキもすてがたい。細長いガラス容器に細長いスプーンが入つていたような気がする。昔は唐戸しかなかつたが、確かに高校時代に大歳神社の近くにも出店した桃太郎は下関の食文化の一つとして多くの人の心のなかに残つている。(クボタ)

軟弱な動機で始めたバドミントンでした

が、大学時代四年間続けました。二年生の時、福岡県学生選手権新人戦でシン

グルス優勝、ダブルス三位という戦績を

おさめることができました。

當時は、非常に緊張していたんでしょ

う。何を話したか全然記憶に残つていま

せん。一つ強烈に印象としてあるのは

「桃太郎」で一緒にあの天ぷらうどんを

食べた事、そして思い切つてミルクセー

キも奮発した事です。熱いうどんの後の

頭がキーンとする冷たいミルクセーキ、

この組み合わせは絶品です。何故「桃太

郎」だったのか、前後関係ははつきりし

ませんが、どんな贅沢なレストランより

も素晴らしい天ぷらうどんを食べさせてく

れました。今でも帰郷の折は必ず「桃太

郎」のお世話をしています。私自身の

恋は実りませんでしたが、私のクラスメ

ートが「桃太郎」の娘と結婚した事を付

け加えておきます。

将さんとそのお嬢さん。当時の事なので

年齢ははつきりしない。店はよく流行

つっていた。美女目当ての客もあつただ

う南高出身

だという女

白髪の昔の

美女、その

娘さんとい

う南高出身

は勿論だが、なんと言つ

ても店の親

子三代の美

女。おばあ

さんと言つ

てもいい、

乏しい小遣いの中でヤリクリするのだからクラブ活動の帰りに渴い喉を潤す

のはいつも“みぞれ”。スプレーですくう

と頂上あたりの蜜がかかつた一番美味しき所がドサツとテーブルに落ちてくる。

そこでコップの水を徐々に注ぎ込みながらズルッとすする。この冷たさと甘さが

たまらなかつた。

「すいす」はまた南高生との接点を持

てる数少ない場でもあつた。当時の山電

の電車は女子が前から男子が後ろから乗

り降りするという暗黙の決まり(?)があ

つて純情な一般男生徒は女生徒と話をす

る機会はなかつた。

なかには年上の梅光短大生を狙つてい

るおマセな輩もいたが基本的にワイル

ドソーテリアの雰囲気しか理解できず、決

して上等なテーブルでもなかつたし流行

りの音楽が流れている訳でもない。看板

の三姉妹が無愛想に注文を取りに来るだ

けの店だつたけれど、やはり「すいす」

は青春時代の思い出にスパイクとして貢

献してくれる。

下関に帰る機会もなく、東駅辺りの情

報も入つてこない。都市計画とやらで変

わつてゐるだろうし、「すいす」のそ

後も知らない。

昔の思い出の店として記憶しているだ

けのほうがよい店なのかもしれない。

この名物は、お好み焼

東駅近くにあつたお好み焼屋「水津」

だろう。現役中もそうだが、補習科時代

にはよく行つた。こここの名物は、お好み焼

だつたが、唐戸とは縁がなかつた

が、名陵中学に行つて行動半径も広がり、

友達につれて行つてもらつたのが最初で

の言葉があつた。そう言えば、桃太郎と妻の母から、天ぷらうどんと水ぜんざいとミルクセーキがあるよと渡りに船の言葉があるので、あまり唐戸とは縁がなかつたが、名陵中学に行つて行動半径も広がり、友達につれて行つてもらつたのが最初で

「すいす」

門田 宰 (43期)

(野村證券)



将さんとそのお嬢さん。

当時の事なので

年齢ははつきりしない。

店はよく流

行つていて。

美女目當

ての客もあつただ

う南高出身

だとい

う女

白髪の昔の

美女、その

娘さんとい

う南高出身

は勿論だが、なんと言つ

ても店の親

子三代の美

女。おばあ

さんと言つ

てもいい、

乏しい小遣いの中でヤリクリするのだからクラブ活動の帰りに渴い喉を潤すのはいつも“みぞれ”。スプレーですくうと頂上あたりの蜜がかかつた一番美味しい所がドサツとテーブルに落ちてくる。

そこでコップの水を徐々に注ぎ込みながらズルッとすする。この冷たさと甘さがたまらなかつた。

「すいす」はまた南高生との接点を持

てる数少ない場でもあつた。当時の山電

の電車は女子が前から男子が後ろから乗

り降りするという暗黙の決まり(?)があ

つて純情な一般男生徒は女生徒と話をす

る機会はなかつた。

なかには年上の梅光短大生を狙つてい

るおマセな輩もいたが基本的にワイル

ドソーテリアの雰囲気しか理解できず、決

して上等なテーブルでもなかつたし流行

りの音楽が流れている訳でもない。看板

の三姉妹が無愛想に注文を取りに来るだ

けの店だつたけれど、やはり「すいす」

は青春時代の思い出にスパイクとして貢

献してくれる。

下関に帰る機会もなく、東駅辺りの情

報も入つてこない。都市計画とやらで変

わつてゐるだろうし、「すいす」のそ

後も知らない。

昔の思い出の店として記憶しているだ

けのほうがよい店なのかもしれない。

この名物は、お好み焼

東駅近くにあつたお好み焼屋「水津」

だろう。現役中もそうだが、補習科時代

にはよく行つた。こここの名物は、お好み焼

だつたが、唐戸とは縁がなかつた

が、名陵中学に行つて行動半径も広がり、

友達につれて行つてもらつたのが最初で

の試合などで彼女との接点が増える中で、私は初めて“ラブレター”なるもの

を書きました。そして初めての、それもたつた一回限りのデートにこぎつけたのです。

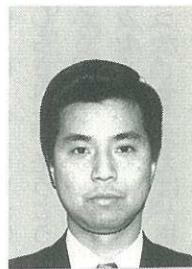
西高と言えば東駅、東駅と言えば「すい

ず」というくらい馴染みの店であつた。

西高と言えば東駅、東駅と言えば「すい

「鯨」

山田浩幸(56期)



関西の会社に就職して十五年が経ちます。仕事の関係から地方に出張し、各地で名物と言われるおいしい食べ物を口にすることもあります。大学時代を東京で過ごしたこともあり、下関・東京・そして関西と様々な食べ物の中から今は子供の頃からのお好物である「鯨」について述べたいと思います。

鯨といえば、最近は高級料理となつてしましましたが、私が下関で育った昭和三十年から四十年には、重要な蛋白質として料理の一角を占め、刺身・焼き物・ベーコン・そのほか魚肉ソーセージにまで鯨肉が使用されていました。造船会社に勤務する父親の関連で鯨をいたくことも多く、大変おいしくいただいておりました。

さて、鯨といえば世界で最も大きな哺乳類であり、「鯨一頭七浦うるおす」との言葉もあるほど、唇から尻尾、内臓まで可食であり、その他、薬や釣竿にも使われています。

海で捕獲される鯨は周囲を海に囲まれた日本の魚文化に裏付けられ学校給食の普及もあって、安価で均等な質と量の料理を大量につくれる鯨肉の需要が伸びたとの事であります。

しかしながら、近年の商業捕鯨禁止の流れを受け調査捕鯨以外の鯨肉の入手が困難となり、希少価値としての鯨料理(尾の身、ハリハリ鍋、ベーコン、タタキ、コロ、から揚げ)は高級料理となってしまったのです。

関西にも鯨とゆかりのある太地町や高畠町にも鯨とゆかりのある太地町や高畠町にも

知中村がありますが、今回、下関水族館に問い合わせたところ、郷里山口県にも近代捕鯨の始まりとして明治三十二年に設立された仙崎の日本遠洋漁業会社や長門市青海島通町にある鯨の墓(約五十基)といった鯨に関連深い施設があり、「鯨」という食べ物を通して食文化に深く関連していた事を知りました。皆さんも今後「鯨料理」を口にする機会があれば何かの知識として参考になればと思います。(鴻池組)



▲下関水族館

「キ」、「ぐじらのフライ」、「ぐじらのしぐれ煮」等々、廉価であつたゆえか、給食のメニューに入れし易かつたゆえか、給食のメニューにもよく登場した。

その肉には独特の臭みがあり、色は赤黒く、肉質は硬目で、筋が多くつた。咀嚼するにつれ、肉のうまみがなくなり、繊維状になる。それをごくりと嚥下する。

子供の頃、「ベーコン」と言えば、ぐじらベーコンしか知らない。独特の香りと塩っぽさと歯ごたえ。それにあの赤い縁取り。似ても似つかぬ豚ベーコンがあることを知ったのはずっと後年の居酒屋のこと。私「これベーコンちやうやないか。こんな注文してへんで」、店員「お客様、これがベーコンでつせ」、私は「ええツー!」てな具合であった。また幼年時には「肝油」なる丸薬もよく食っていた。余りうまいと言えるしろものではなかつた。鯨の肝臓から出来ていたと記憶する。

「松浦漬け」は、ぐじらのあごの軟骨の粕漬け。酒を嗜むようになつて久しいが、松浦漬けで日本酒をやるのもまたおつなものだろう。今でも手に入るのだろうか。思うに、何の制約もなく、いつでも安価に鯨肉を入手できた時代と地理的条件に我々はずいぶん恵まれていたのである。

今の若い世代はぐじらと言えば、まずホエールウォッチングをイメージし、ついで自然保護・動物保護を頭に浮かべるに違いない。

いずれ彼らにとつて鯨肉を食べることなど思ひもよらないことになるかもしない。それでも仕事帰り、なんば高島屋の食料品売り場を覗いてみると鯨肉赤身(尾の身ではない)が100g一500円で置いてあつたりする。高級牛肉に劣らない値段なのである。

今宵、多少ノスタルジックなくじらの想い出とベースターズ快進撃のニュースとに心地よく酔いながらこの原稿を書いている。えつ!あなた巨人ファン?でもそんなに目クジラ立てることもありますまい、三十八年に一度の快挙なのだから。

(クボタ)

本年度当番幹事45期有志

和歌山大学

健

電話 0734(57)7353

甲南大学経営学部

河崎照行

電話 078(431)4341

熊谷組・阪高島屋作業所

熊野裕治

電話 06(460)7480

株ダイハツ工業

唯岡和夫

電話 0727(82)6203

安田信託銀行・梅田支店

藤永泰雄

電話 06(313)3281

京都ステーションセンター株式会社

空谷俊和

電話 075(365)7512

(社)奈良まちづくりセンター

黒田睦子

(31期)

株式会社富士銀行

古島正晴

(35期)

株式会社ミズワ

矢野彰一

(50期)

42期生有志

鋼洋株式会社

後田敏夫

電話 06(539)7506

旭化成工業株式会社

兼清健治

電話 0726(85)4567

大洋真珠株式会社

川本俊郎

電話 078(754)2200

松下電器産業株式会社

末光久

電話 06(949)2257

関西推工株式会社

富田啓成

電話 0729(95)1117

株式会社栗村製作所

正垣幸雄

電話 06(341)1751

京都大学経済学部

八木紀一郎

電話 075(753)3427

和歌山大学教育学部

森杉馨

電話 0734(54)0361

旭陵同窓会関西支部役員一同

残暑お見舞申し上げます。

総会に是非ご出席下さい。

阪急東宝グループがプロデュースする葬祭会館

これからも安心・便利・満足をお約束します

- 密葬から社葬まで、あらゆる規模・宗旨・宗派にお応えします。まずはお電話ください。
- 提携会館・協力会館のネットワークもますます充実。
- 葬儀基本料金が割引になるエテルノ俱乐部。特典も増えて、会員募集中です。

阪急西宮北口駅
徒歩5分駐車場
最大600台

24時間寝台車無料サービス

お問い合わせは(株)阪急メディアックス 0120-01-3242 TEL0798-66-6622



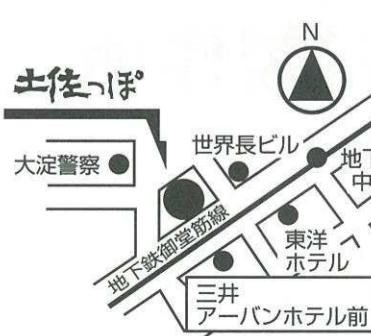
葬祭会館 工テル NISHINOMIYA 西宮市高畠町2-25

土佐料理・活魚料理

土佐っぽ

代表取締役 中平興紀

有限会社 土佐っぽ

〒531-0071 大阪市北区中津1丁目6番33号
TEL (06) 373-3426(代)
中平ビル 〒531-0071 大阪市北区豊崎5丁目7番23号

「ふるさとはありがたい」

森杉
馨 (42期)



私は、長府の出身です。ふるさとはありますけれども、客観的にはそれほどいいところでもなく、個人的には、とてもよいところであり、心からいいところで育つたなーと思えるものです。

昔は今と違つて、家から一〇分で、海に泳ぎにいくこともできたし、山に登ることもできた。また、まだ、戦後の復旧が十分ではなかつたためか、あちらこちらに空き地があり、そこで近所の子供が集まつて、缶蹴り、野球、エスなどで遊べた。また、近くには忌宮神社があり、十分なスペースのある運動場であつたし、神社の中には、森もあり、冒險にはもつてこいの場所だつた。

考えて見ると、われわれの世代の方が今の子供より、はるかに恵まれていた気がする。われわれの世代の子供を見て、も、今の子供見ても、核家族化が進行し、ゲームとか、ビデオとかばっかりで、本当の遊びを知らない気がする。このことが、子供の成長に何らかの影響を与えていて、それが今日の社会問題となつていることは間違いないだろうと思う。

高校時代は、大体、山電の鳥居前七時四十五分発の電車に乗つて通つた。東駅から学校までの坂では、遅刻しないよう走つた。帰りに時々寄つた東駅の山電の食堂のうどんはうまかった。下関で食べるうどんは今でも安くてうまい。たまに帰省したときは駅で立ち食いをすることが多い。高校卒業して以来、機会がなく一度も西高を訪問していないが、ずいぶん変わつてしまつていてるだろう。

学生時代、年に数回、帰省したとき、まだ、新幹線はないころで、当時の下関駅に着くと、強烈な磯の香りがして、いかにも下関に戻ったという気になつた。下関駅から、バスに乗つて長府の方に戻るとき、窓の外の関門海峡の景色は、景観の美しさと懐かしさがミックスして、なんともいえない感慨を与えてくれた。今は、たまに帰省しても、新下関駅に着くため、当時のような感慨は得られない。

（和歌山大学）

説等ばかり漁つて読んでいましたから、高尚な人間ではありません。ところが、四十歳を前にして、司馬遼太郎さんの「国盗り物語」を妻の本棚から見つけて読んでからは、歴史小説が俄然おもしろくなつてきました。今まで、歴史というもののを避けてきたのが（たぶん高校時代の歴史の勉強が暗記ばかりだったのに辟易したからだと思いますが）、人生の遠回りをしたように感じられました。

もちろん、下関市生まれでありますから、幕末から明治にかけての長州藩の傑人達の活躍ぶりは特に意識して読みました。さらに、父母が鹿児島県出身なものですから薩摩藩の偉人達の物語にも感動しました。何より、戦国時代の物語は飽きません。まさに、壮大な人間ドラマがそこに展開しているようです。織田信長は新人類の走りでしょうし、豊臣秀吉は抜群の成績を上げている営業マンに見えるし、徳川家康は苦労しすぎて性格がねじ曲がったようだし。明智光秀も、むしろ生真面目でいい人だったのではないかと思えたりします。

そんなことを私に教えてくれる本なのですが、現代は活字離れが進んでいるとか。今はいろんな情報媒体がありますから、本を読むことは古いという意識があるとすれば残念です。別に私は出版界に勤めているわけではないですが、本をもつと読んでほしいと思います。何たつて、安いです。ある著名な方（確か、谷沢永一さん）が、本をもつと読んでほしいと思います。何たつて、安いです。ある分野について十万円分の本を買って読んだならば、その道の専門家になれる

「堅忍不拔」

田底成智（55期）



「私の宝物」

内田陽一郎
(42期)



といったことを話されていました。正
そのとおり。偉くなれて、おまけに安
といううりは今の一^イ一^イズにもびつたり。
あ皆さん、どんどん本を読みましょう。
そして、いい本があればどんどん私に
介してください。(ちょっと虫がいい?)
(中央復讐コノナレフノソ)

人は誰しも人生の選択において、それを決定づける『出会い』の体験を持つているのではないだろうか。私が、(声楽)に魅せられ、この道を我が一生の友としようと決心したのは、高校の二年生的時候であつた。

一九六四年十二月二日小倉市民会館3階ま列28番『フェルツチヨ・タリアギーニテノール・リサイタル』の入場券を私は今でも自分の宝物として大切にしているが、クラシック・コンサートのケット代は当時も今も高いのには変わらない。貯めていた小遣いを全部はたて買った座席は3階のステージから一千里離にある席だつた。(それが、私が進むべき道への入口となるとは、その時一体誰が想像しただろうか) イタリアの生んだ名テノール歌手フェルツチヨ・タリアギーニ(Ferruccio Tagliavini)の独唱会は、満員の聴衆の見守る中、グルツク(W.Gluck)の「ああ、私の優しい熱情が」(Oh mio dolce ardore)の甘美なメロディーが彼のレッジエロ(柔らかい)なトーンに乗つて紡ぎされた。恥ずかしい話しだが、声楽のこ

るのが声楽というものだと先輩のお客さんから教わった時の私の驚きは、無知らくる恥ずかしさを通り越して、ただ感動の高まりへと私を誘つたのだ。プロラムの後半は、人間の声の神秘なまで美しさと、ディナーミクの織り成す波の響きの渦中に酔いしれた。

小学校高学年から中学時代まで習つていたヴァイオリンが私の音楽への関心を高めたがあの夜のタリアヴィーニの歌の出会いは私の一生を決める道を示してくれたのだ。高校二年生の時受けた山県毎日学生音楽コンクールで声楽部門位、総合部門グランプリを受賞し、続けて受けた西日本学生音楽コンクール（斎藤太郎記念音楽祭）で三位入賞を果たすことが出来た私は、本格的に声楽の勉強を始めることになった。自宅にピアノを無いので、運動場の片隅のあのボロの音楽教室のアップライトピアノを借りて、課後遅くまで練習した日々が今懐かしく甦つてくる。念願の東京芸術大学の声楽学科に入学適つた私の夢は今度は本場タリア留学へと広がつていつたのだ。

この六年間の留学で、私はイタリアの妻とイタリア文化の染み込んだ体と共にオペラが誕生する以前のルネッサンス音楽大学で後輩たちに声楽を手解する日々を送つてゐるそして、イタリ期及び初期バロック期の古声楽曲の研究を大学院の学生たちと続けてゐる。

旭陵同窓会関西支部規約抜粋	
第1条（呼称）	この会は、旭陵同窓会関西支部と称する。
第2条（事務所）	
第3条（会員）	この会は、旭陵同窓会員であつて、関西地区に在住、または勤務するもので組織する。
第4条（目的）	

